

**下仁田町街なか活性化事業検討委員会  
第1回 整備推進委員会 議事録**

日時 令和5年8月10日(木) 18時28分～20時10分

場所 下仁田町役場 202会議室

出席者 1号委員 10名(内2名代理出席)  
2号委員 3名(オブザーバー含む)  
庁内関係課 2名(1名欠席)

- 次第
1. 開会
  2. 委嘱状の交付
  3. 町長あいさつ
  4. 委員の紹介
  5. 委員長・副委員長を選出
  6. 議事
    - (1)基本計画 基本方針
    - (2)整備推進検討の方向性
    - (3)意見交換
    - (4)その他
  7. 閉会

■検討委員会の様子



■意見交換の内容(主な意見、感想)

【つどいの場の創出・下仁田駅周辺について】

・電車の待ち時間に、高校生などが安全に過ごせる場所があると良い。いつでも

安心できる場所として、常駐の人がいることが大事だと感じる。

- ・ガソリン代の高騰によって公共交通の利用者が増えると予想する。外からの流入、交流人口にも目を向ける必要がある。
- ・下仁田駅は観光のスタート地点であり、ここから情報発信するとツアーなどもやりやすい。
- ・上信電鉄の博物館的な施設や、上州のシーラカンス「デキ」の設置など、組み合わせで議論していきたい。
- ・上信電鉄に限らず、町の人々の歴史なども見られると、厚みが増すかもしれない。
- ・観光などの専門知識がある人がいると良い。
- ・駅と駅周辺の安全のため、駅前に交番や派出所があれば良い。内容に警察との連携、一体感を含めたい。
- ・集う場所であり、発信する場所であるという2つの大きな役割をしっかりと果たせた整備を行う。
- ・観光の拠点として考えた場合、赤レンガ倉庫を含めることはできないか。  
→赤レンガ倉庫は非常に魅力的だが、使用者がいる。整備や景観の範囲は徐々に拡張するなど、柔軟に対応していくのではどうか。
- ・上信電鉄の駅はレトロで評価が高い。赤レンガ倉庫も含めて残し、新しい設備も違和感のないものを建てていただきたい。
- ・景観は違和感なく、内容は良いものにする。ハードについては調和が大切である。
- ・駅の機能として、一時的な滞在空間も必要である。
- ・観光協会が8月29日に白石工業本社(大阪)を訪問する。その際に、本委員会の資料を提示し、協力をお願いするのはどうか。  
→お願いします。また、町長にもつなげておく。

#### 【街なか拠点整備・こんにやく手作り体験道場周辺について】

- ・駐車スペースがかなり削られてしまう。イベント会場や駐車場として使用しているがどうなるのか。
- ・建物の整備によってはもっと広く駐車できるのではないか。
- ・現状でも以下の問題がある。  
(1)出入口に駐車があるとバスの出入りが危険のため、通路にしてもらいたい。

(2)同じ場所に新設となった場合、工事期間はどのように対応するか。

(3)小・中学生が大人用のスリッパに履き替えると危険なので、土足のままにしてもらいたい。

- ・今は駐車場としての需要が非常に高く、これにより飲食店にも人が流れるようになっている。街なかで大型バスが停まれるのはここだけなので、安易に芝生にせず、上手く考えていかねばならない。
- ・外から観光客が来るのであれば、芝生については再検討しても良いのではないか。
- ・ライブラリー、共有スペースは駅前と街なかの両方に必要だろうか。
- ・住民ヒアリングを行った際に、街なかに歩ける場所や集える場所が欲しい、という意見があった。そういう意味で、街なかに「住民が集える場所」としてライブラリーや芝生を載せている。駅周辺の図書スペースはテンポラリー(※一時的な、臨時的)なものである。観光も大切だが、住民の生活の場であることも大切である。
- ・定期的な朝市やマーケットなどは再訪問のきっかけになるが、そうになると必然的に駐車場の問題が出て来る。
- ・住民が集う場合でも、駐車場が必要である。高齢者が増える中での町づくりとしても、移動のため公共交通への視点も必要になる。
- ・コロナの影響も薄れ、飲食や手作り体験の観光需要が高まっている。今後の整備に対する問題はあるが、現況でも色々問題がある。小学生などの意見や違う目線なども参考にできないか。
- ・駐車場と芝生を両方取り入れて、良いとこどりするのが現実的ではないか。

#### ■委員長まとめ

- ・今日の意見を丁寧に受け止め、まとめていく必要がある。より具体的に、役場内や専門部会で整理作業をしていただく。

#### ■事務局から

- ・専門部会等の進捗は、その都度報告する。次回開催日程は未定だが、召集の際はご連絡をさせていただきます。

以上